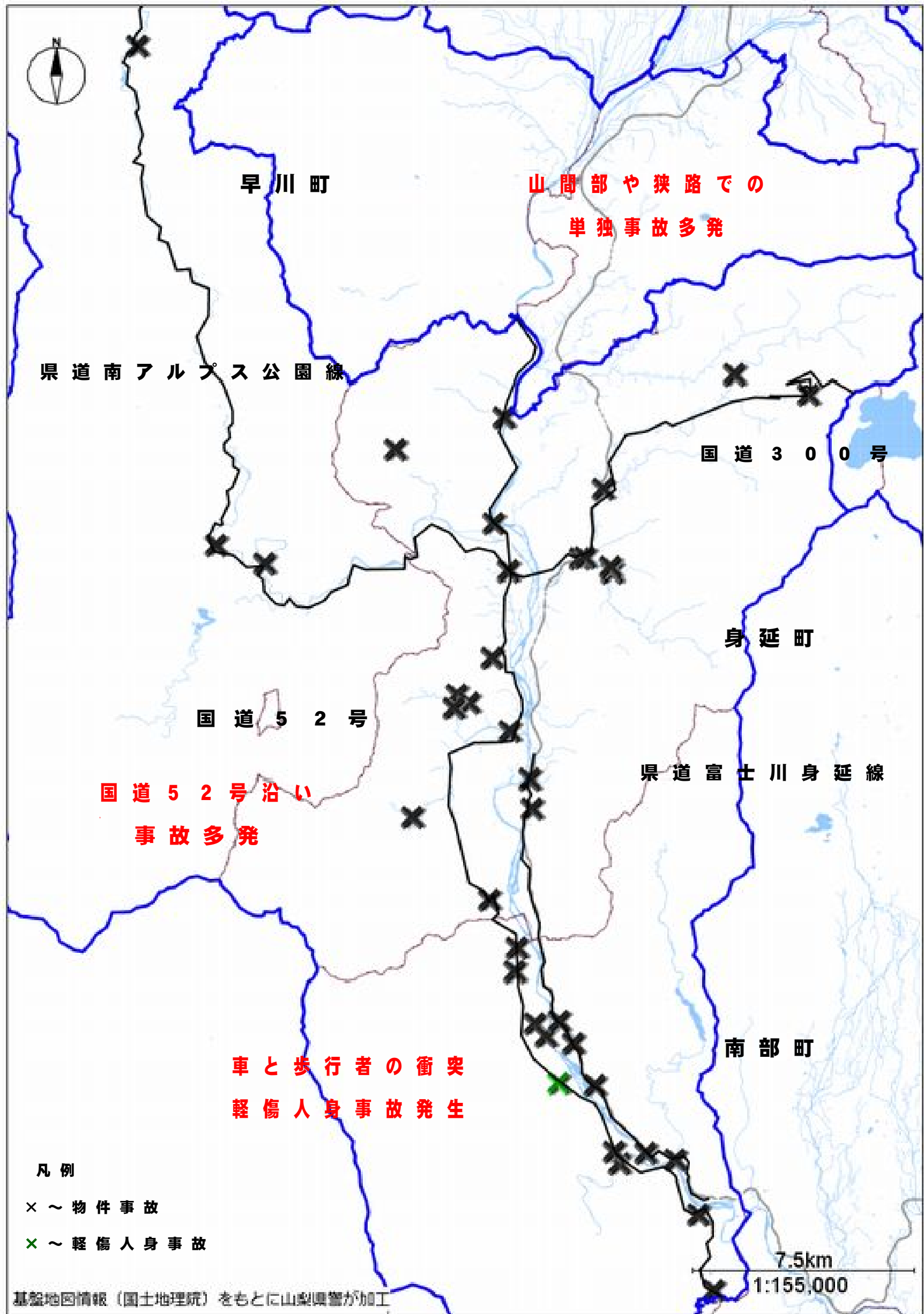


令和6年4月中 南部警察署交通事故件数



4月の事故分析

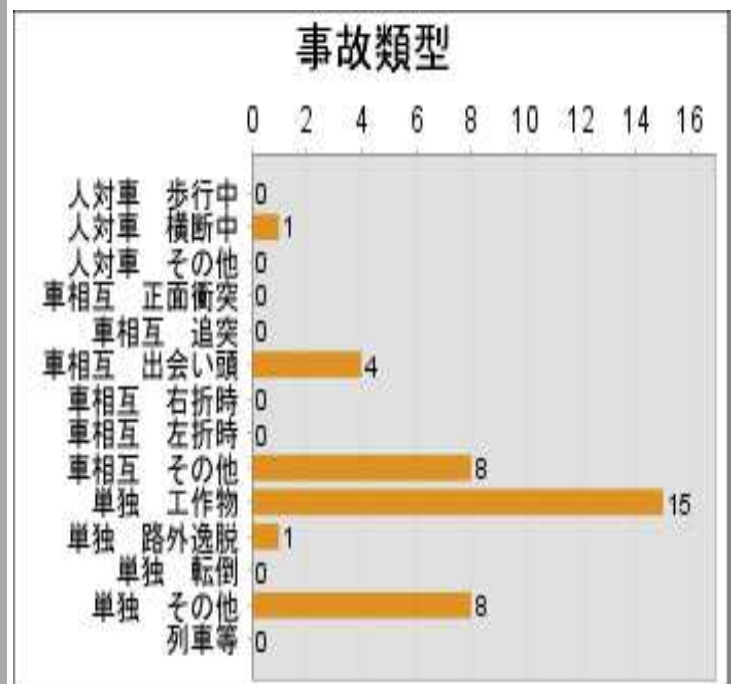
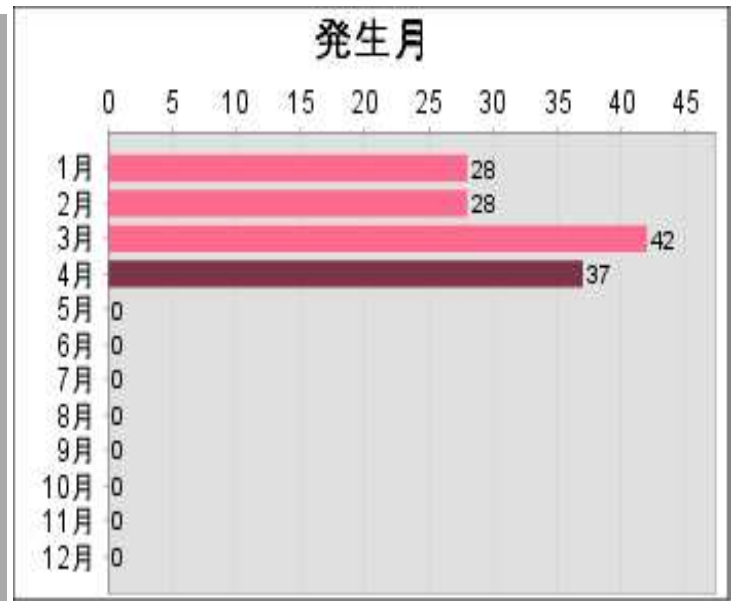
○ 発生件数 37 件（先月 42 件）－ 5 件
 怪我のない事故 36 件（先月 41 件）－ 5 件
 怪我のある事故 1 件（先月 1 件）± 0 件

○ 4 月中の発生件数は、先月に比べて－ 5 件となりました。

○ 4 月中は 65 歳以上の方の事故が多く、事故の内容は

工作物などにぶつかる単独事故が多く見られました。

○ 発生場所については、路線では国道 52 号、県道南アルプス公園線、国道 300 号で多く、山間部などの狭路やカーブ周辺で多く発生しています。



6月の事故防止ポイント

● 降雨時の走行に注意！

6 月に入るとまもなく梅雨を迎えます。長雨は交通事故が起こりやすい環境を作ります。特に、「視界の悪化」、「聴力の悪化」、「路面の悪化」の 3 点に注意しましょう。

「視界の悪化」＝雨が降ることによってフロントガラスが濡れ、視認性が悪くなります。ワイパーを使うことでさらに視界は悪化します。

「聴力の悪化」＝車の運転時、運転手は情報の 8 割を目から得ていると言われています。そして、それ以外は耳からの情報を頼りに運転しています。雨音で周囲の音がかき消されてしまい、視認性に加えて耳から入る情報もおろそかになってしまいます。

「路面の悪化」＝路面が濡れることで制動距離が長くなりスリップ事故が起こりやすくなります。

スピードの出し過ぎ、タイヤの摩耗や空気圧不足などによってさらに危険度が増しますので、注意深い運転を心がけましょう。

また、周囲の歩行者も同じく状況が悪化していることに注意が必要です。

